



TSUNAGU

小中一貫教育全市展開に向けて

平成30年10月29日
我孫子市小中一貫教育だより
第201号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-道徳を活用した授業が実施されたうなー！

湖北台西小学校で、Abi-道徳を活用した授業が行われました。

ひびけ、心のリコーダー

10/16(火)に、湖北台西小学校で、Abi-道徳「支え合う友達」の大切さについての学習が行われました。学習する児童と同じ3年生が登場する映像資料をもとに、登場人物の行動や気持ちについて、話し合いました。登場人物の気持ちの変化を通して、友達の立場や気持ちを理解し、友達を信頼することや助け合おうとする事の大切さを学びました。自分たちの生活経験と重ねながら、真剣に取り組む子ども達の姿が印象的でした。



Abi-道徳に沿ってこんな授業も実施されたうなー！

Abi-道徳では、重点指導項目を設定し、それに準じた学びの系統表をもとにモデルカリキュラムを作成しています。今回は、児童生徒の実態に応じて、重点指導項目を踏まえながら教材を工夫して行われた授業実践を紹介します。

我孫子中学校で、Abi-道徳の重点指導項目をもとにした授業が行われました。

「足袋の季節」

9/27(木)に我孫子中学校で Abi-道徳の重点指導項目「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する」という観点で、中学3年生の学習が行われました。



授業で扱った題材『足袋の季節』で描かれた、筆者が大正時代の貧しい生活の中で、自分の弱さと強く気高く生きたいという思いに揺れる少年の頃の姿や成人後の思いを通して、人間の弱さや強さ、そしてよりよく生きる喜びについて、仲間と話し合いながら学びを深めていました。



TSUNAGU

小中一貫教育全市展開に向けて

平成30年11月19日
我孫子市小中一貫教育だより
第202号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさとを活用した授業が実施されたうなー！

湖北中学校で、Abi-ふるさとを活用した授業が行われました。

「志賀直哉」

11/9（金）に、湖北中学校で、Abi-ふるさと「志賀直哉」についての学習が行われました。作品に登場する我孫子や手賀沼の風景描写や明治・大正期の写真から、その当時の様子を読み取り、現在の我孫子市との違いを感じていました。また、なぜ多くの先人が、我孫子で創作活動に取り組んだのかについても、「志賀直哉」の生涯を追いつつ、当時の我孫子の様子を想像しながら考えを深めていました。



子ども達の感想には、「我孫子市の先人に小説の神様がいたなんて、誇りに思う。」「我孫子の風情などが小説に書かれていて親近感がわいた。」「志賀直哉たちを惹きつけるほど手賀沼や風景がきれいだったんだと思った。」などと書かれていました。

白山中学校区3校合同で教育ミニ集会が行われたうなー！

千葉県「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」をスローガンとした施策のもと、我孫子市では、家庭と地域と学校とでそれぞれの地域の教育課題について語り合う教育ミニ集会を行っています。**白山中学校区で小中一貫の意義を込めた3校合同開催教育ミニ集会が行われました。**

地域・保護者と共に育てる！

11/9（金）に、白山中学校で、我孫子第一小学校、我孫子第四小学校と合同開催の教育ミニ集会が行われ、学校職員、保護者や地域の方々が一堂に会し、グループ討議を行いました。「地域・保護者と共に育てる！～全ての子ども達の成長を願って、今できることはなんだろう～」をメインテーマに、登下校の安全、地域人材の学校教育への活用、PTA同士（おやじの会）の連携、学校行事と学校教育、携帯電話・スマホのルールづくりなどのテーマに分かれ、討議が進みました。それぞれの立場から見る、子ども達の姿や、学校、地域の様子、また子ども達の安全、学び、地域との関わりにむけての意見が、次々と話し合われ、どのグループも時間が足りないほどでした。白山中学校区の子供達達が育ちゆく中で、たくさんの地域の方々に見守られ、励まされ、支えられていることを再認識し、さらに地域のつながりが深まる場となりました。





T S U N A G U

- **小中一貫教育全市展開に向けて** -

平成30年11月26日
我孫子市小中一貫教育だより
第203号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうきやまさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT を活用した授業が実施されたうなー！

現在では、子ども達が早い時期から携帯電話やスマートフォン、タブレット端末などに触れる機会が増えています。今回は、そうした実態を考慮し、きまりを守って使う大切さや、危険があることについての理解をねらいとして、小学校第3学年を対象とした授業が行われました。

我孫子第一小学校で、Abi-ICT を活用した授業が行われました。

きまりを守って使おう

11/20(火)に、我孫子第一小学校で、Abi-ICT「携帯電話の使用を考えよう」についての学習が行われました。

授業の始めに、子ども達は、スマートフォンの便利さや、危険なところについて知っていることを発表しました。たくさんの意見が出され、3年生の子ども達にとってスマートフォンが身近にある様子がうかがえました。

その後、スマートフォンの使い方とトラブルについての動画を鑑賞し、まとめのふりかえりでは、「いくら便利だからといっても、ルールを守らないと大変なことになるので、ちゃんとルールを守って使おうと思った。」など、自分の考えをしっかりと書いていました。



Abi-道徳を活用した授業が実施されたうなー！



我孫子第三小学校で Abi-道徳を活用した授業が行われました。

自分のよさに気づくこと、友だちの立場を考え理解すること

11/21(水)に、我孫子第三小学校の第3、4学年で Abi-道徳の授業が行われました。

第3学年では、友だちの「よさ」に気づいていく教材の登場人物の様子や、友だちから自分の「よさ」を知らせてもらう活動を通して、自分自身を見つめ、その長所を認識していました。

第4学年では、詩や映像教材を利用して、友だちの立場や気持ちを理解し、信頼し、助け合おうとする態度の育成をねらいとする学習が行われました。教材の登場人物の気持ちに寄り添いながらも、自分ならどうするかという視点で、考えを深める子ども達の様子が見られました。

どちらも、我孫子市が目指す子ども像「自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども」に向けての大切な学びとなっていました。





T S U N A G U

- **小中一貫教育全市展開に向けて** -

平成30年12月4日
我孫子市小中一貫教育だより
第204号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT を活用した授業が実施されたうなー！

中学生においては、スマートフォンの個人所有率が高まり、個人情報の保護をはじめ、文字でのやりとりにおける利点や問題点、また情報の信憑性などについて学ぶ必要性が高まっています。Abi-ICT では、そうした内容について系統的に学ぶためのカリキュラムを作成しています。

白山中学校で、Abi-ICT を活用した授業が行われました。

11/28(水)に、白山中学校で、Abi-ICTの学習が、第1学年から第3学年まで、それぞれの学年で行われました。どの学年でも、生徒のコミュニケーションツールの実態を考慮して、より新しい情報を取り入れながら授業を行っていました。また、授業後、校内協議会で、それぞれの授業についての振り返りが行われました。

個人情報の保護

第1学年では、個人情報の保護をテーマに授業が展開されました。はじめに「個人情報」について話し合い、個人を特定する情報の多さを確認しました。また、個人情報の漏洩から起こりうる問題について知り、それらを防ぐ方法について学び



ました。子ども達は、「自分や他人の個人情報を絶対に載せないようにする。」「ちょっとしたことで家族にまで迷惑がかかることがわかった。」などと感想に書き、意識が高まった様子が見られました。



携帯電話でのコミュニケーションを取るときに大切なこと

第2学年では、様々なコミュニケーション方法がある中で、携帯電話(スマートフォン)を使用した、文字だけのコミュニケーション方法の良さや難しさについて学習しました。直接会話で伝えることが伝えやすい点や、記録に残せることが利点となる一方で、文字だけではうまく伝えられなかったり、誤解が生じてしまったりという問題点があることを学び、相手のことをよく考えて文字で伝えることの大切さを感じていました。



情報の信憑性

第3学年では、修学旅行の際に、事前学習で得た情報と、実際に現地で行ったことの内容に違いがあったことを入り口に、情報収集の際に考慮しなければならない「情報の信憑性」について学びました。実際に旅行を計画する上で、情報収集の方法や、情報の信憑性を確認する手段について話し合いました。情報過多のこの時代に、どのように整理して扱っていくかについて考え、また発信する側の責任についても考える授業となりました。





T S U N A G U

- **小中一貫教育全市展開に向けて** -

平成30年12月4日
我孫子市小中一貫教育だより
第205号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小学校合同キャリア教育講話会が行われたうなー！

小中一貫教育を推進する上で、小学校と中学校の連携はもちろん、同じ中学校へ進学する小学校同士の連携も大切です。湖北台中学校区の湖北台西小学校と湖北台東小学校では、毎年キャリア教育の講話会を合同で行っています。

湖北台西小学校で、湖北台東小学校との合同キャリア教育講話会が行われました。

職業人講話会

11/29(木)に、湖北台西小学校と湖北台東小学校の6年生児童が集まり、合同でキャリア教育の体験学習「職業人講話会」が行われました。それぞれの学校を担当する学校支援地域コーディネーターが、児童が講話を希望する職業人に呼びかけ、10人の職業人が講師として来校してくださいました。



子ども達は、それぞれ3名の講師を選んで、講師の先生ごとに両校合同のグループに分かれて講話を聞きました。講話では、その職業に就くまでの道のりや、職業の魅力、大変さなどについて、講師の先生方それぞれの視点でお話しいただき、子ども達は熱心にメモを取りながら聞き入っていました。

Abi-ふるさとを活用した授業が実施されたうなー！



久寺家中学校で Abi-ふるさとを活用した授業が行われました。

我孫子の先人を通して、伝えたいこと

12/3(月)に、久寺家中学校の第1学年で、「嘉納治五郎」についての学習が行われました。子ども達は、小学校でも一度学習し、その人物像について学んでいます。今回は、「嘉納治五郎」の「自他共栄の精神」に着目し、体育科の柔道や、合唱コンクールへ向けての取り組みに結びつけて、学びを深めることをねらいとしていました。



授業後に、並木小学校、根戸小学校の職員も含め、久寺家中学校区の職員が集まって協議会が行われました。参観者からは、小学校よりも知識や経験を蓄えた中学校で学習することで、より子ども達の生活や学習体験に結びつけやすいという利点が挙げられました。また、学びを深める手立てとして、来る東京オリンピックや、「嘉納治五郎」が活躍した時代背景と関連づけることなどが挙げられました。ふるさと学習の視点としては、当時の我孫子の様子についても掘り下げて学ぶことで、我孫子の魅力に気づく機会になるといった意見も出されました。



T S U N A G U

- **小中一貫教育全市展開に向けて** -

平成30年12月5日
我孫子市小中一貫教育だより
第206号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT を活用した授業が実施されたうなー！

我孫子第四小学校で、Abi-ICT を活用した授業が行われました。

メッセージの上手な伝え合い方

11/30(金)に、第5学年でAbi-ICTを活用した授業が行われました。授業では、SNSのトーク機能についての簡単な仕組みと利便性を理解するところから学習がスタートし、グループトークの例示を見て、文字だけのやりとりから感じたことを話し合いました。その中で、「嫌だな」と感じることに



ついて学びを深め、上手なメッセージの伝え合い方について話し合いました。

子ども達は、人が嫌がることとその人によって違うこと、特に、相手が「嬉しい」と感じると思ってとった言動が、実は、相手は「嫌だ」と感じていることがあるということ、SNSを通じたやり取りの中から学びました。「文字だけの会話」がいかに伝わりづらやかに着目させる中から、どこで誤解が生じるのかについて考える良い機会となりました。



Abi-ふるさとを活用した授業が実施されたうなー！



根戸小学校で Abi-ふるさとを活用した授業が行われました。

「嘉納治五郎」

12/4(火)に、第5学年で教務主任佐藤教諭による Abi-ふるさと「嘉納治五郎」の授業が行われました。佐藤教諭は、教材研究を深め、各校に配付されているスライド資料(パワーポイント)やワークシートにアレンジを加えて授業を組み立てました。



授業では、学習問題を「嘉納治五郎の生き方について考えよう」と設定し、特に、嘉納治五郎の柔術を通じた成長と、「精力善用」と「自他共栄」という2つの精神に注目させました。児童は、「自分だけじゃなく、人の役に立つということはなかなかできないことだ」「私も、練習を休まなかった治五郎のようにあきらめないでがんばりたい」と、治五郎の生き方を通して自分の生き方にまで考えを深めていました。

お知らせ



指導課では、来年、授業者のために、「Abi-ふるさと指導資料集」を配付予定です。また、各校でアレンジしたスライド資料やワークシートを共有する仕組みを整えたいと思います。



T S U N A G U

- **小中一貫教育全市展開に向けて** -

平成30年12月5日
我孫子市小中一貫教育だより
第207号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-道徳を活用した授業が実施されたうなー！

我孫子第二小学校で、Abi-道徳を活用した授業が行われました。

「かけがえのない「いのち」—いのちのすばらしさ—

12/4（火）に、第4学年でAbi-道徳の「いのちのすばらしさ」についての授業が行われました。授業では、レッサーパンダの赤ちゃんが誕生する資料映像を用いて、我孫子第二小学校で飼育している動物たちと関連させながら関心を高め、また命が誕生する陰にある周囲の人々の支えに気づくことをねらいとして学習が行われました。



実際に赤ちゃんが誕生するシーンでは、子ども達から自然と拍手や歓声があがり、命そのものが、かけがえのないものだということをそれぞれが感じていたようでした。



授業のまとめでは、「赤ちゃんが生まれるまでには、本当にいろんな人がお世話をしてくれて、やっと生まれてくるんだな。」「命が生まれることはとても嬉しいことでもあり、大変なことでもあるんだな。永遠に受け継がれる命はすごい。」などと感想を書いています。

**平成31年1月30日は
「我孫子市小中一貫の日」うなー！**



年明け、平成31年1月30日(水)は、「我孫子市小中一貫の日」です。

市内全小中学校において、小学校卒業を間近に控えた小学校6年生が、進学予定の中学校を訪問します。授業体験や、部活動見学など、同じ中学校区の他校の児童や中学生と交流する機会となります。こうした活動を通して、他者を思いやる豊かな心や、コミュニケーション力の育成を目指し、また児童の進学への期待を高めるとともに、不安解消を図ります。

小学校6年生児童は、給食後それぞれの中学校へ移動して活動を行います。活動内容は、中学校区ごとにそれぞれ計画し、実施する予定です。

当日の様子については、また後日掲載します。



T S U N A G U

- **小中一貫教育全市展開に向けて** -

平成31年1月28日
我孫子市小中一貫教育だより
第208号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手習沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



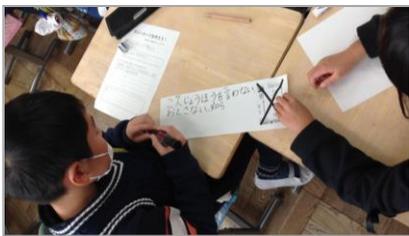
布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT を活用した授業が実施されたうなー！

我孫子第一小学校で、Abi-ICT を活用した授業が行われました。

こじんじょうほう について考えよう

1 / 18 (金) に、第2学年で Abi-ICT の個人情報についての授業が行われました。授業では、パソコンを使ってのはがき(ポストカード)作りに向けて、はがきの役割や、そこに書かれる個人情報について学びました。子どもたちは、住所や名前、電話番号などが「こじんじょうほう」というものであることを学び、それらが書かれたはがきを落としてしまったらどうなるかなど身近に起こりうる状況を想定しながら、個人情報の扱い方について話し合い、クラスからのメッセージとしてまとめました。



授業の振り返りの場面では、それぞれが「個人情報はなくすと怖いからなくさない。」「命にかかわることがわかった。」「個人情報は大事なことがわかった。人には教えないようにする。」などと感想を書いていました。

Abi-道徳に沿った授業が実践されたうなー！



我孫子中学校で、Abi-道徳のねらいに沿った授業が行われました。

自分の言動を振り返り、正す姿勢

1 / 23 (水) に、第1学年で Abi-道徳のねらい「豊かな心の育成」を目指した重点指導項目「自己を見つめ、自己の向上を図る」に沿った授業が行われました。授業では、生徒にとって身近に起こりそうな出来事をモチーフにした資料をもとに、



登場人物の置かれた状況や行動について考え、グループで話し合いました。こうした話し合いや活動を通して、生徒達は、誰もが持っている弱さがあること、また自分の言動を振り返り、正すことの大切さについて学びました。



我孫子中学校では、次年度の道徳の教科化を視野に入れての校内授業研究も行われています。



T S U N A G U

- **小中一貫教育全市展開に向けて** -

平成31年2月12日
我孫子市小中一貫教育だより
第209号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

今年度も「小中一貫の日」が実施されたうなー！

1月30日(水)に「小中一貫の日」が実施されました。

「小中一貫の日」は、小学校から中学校への接続において、なめらかに移行できるようにと、平成27年度から実施しています。市内全小学校の6年生が、中学校へ登校し、中学校区ごとに特色のある児童・生徒の交流活動を行っています。今年度は感染症の流行の影響で、残念ながら布佐中学校区では中止となり、またそれぞれの中学校区でも感染予防のため急遽予定の変更を行うことがありました。しかし、そうした中でも、中学生は、これから入学してくる後輩への温かい思いを様々な形で表し、また6年生も、中学校の先生方や先輩たちと楽しそうに活動する様子が随所で見られました。「小中一貫の日」は、教職員と子どもたちを繋ぎ、また子どもたち同士を繋ぐ、大切な機会となっています。



中学校の教室で、中学校の教員による授業を体験する6年生。

中学校での学習や中学校の教員と接する機会となりました。



中学生と小学生で、一緒に学習する様子。ペアで課題に取り組んだり、テーマにもとづいて、話し合ったり。お互いの距離が縮まっています。



部活動見学や部活動体験では、中学生の主体的に活動する姿や、6年生に優しく教える姿がたくさん見られました。





T S U N A G U

小中一貫教育全市展開に向けて

平成31年2月12日
我孫子市小中一貫教育だより
第210号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-道徳を活用した授業が実施されたうなー！

湖北台東小学校で、Abi-道徳を活用した授業が行われました。

かげがえのない「命」

2/5(火)に、第3学年で Abi-道徳「レッサーパンダの赤ちゃんの誕生」という題材をもとに、映像教材を使用した授業が行われました。子どもたちは、登場人物の会話の裏側にあるそれぞれの思いについて考え、役割演技を通して理解を深めていました。また、授業の終わ



りでは、動物たちの命と接している千葉市動物公園の飼育員へのインタビューの映像に真剣に耳を傾けていました。

学習後の子どもたちの感想には、「命はこんなにも大切なもの」「生まれたあとが大変」「みんなが支え合って命が誕生する」「命の誕生はすごいこと」などといった内容が書かれていました。



Abi-ICT を活用した授業が実践されたうなー！



Abi-ICT では、情報モラル教育が情報機器の活用と密接に関連しているため、PC スキルアップシステムを組み込み、低学年からコンピュータに慣れ親しむ学習を取り入れています。

我孫子第四小学校で、Abi-ICT を活用した授業が行われました。

コンピュータでおえかきをしよう

2/5(火)に、第1学年でコンピュータの使い方について学習しました。「お絵描き」という1年生にとっては身近な活動も、コンピュータを使うと様々な機能が活用できることを知り、子どもたちは手で描くときとの違いをたくさん発見していました。



使い方について一通り学んだ後は、友達と話し合いながら描き方や色の付け方などを工夫して、作品作りに取り組みました。子どもたちが躊躇せずにそれぞれの機能を活用し、自由な発想で楽しく絵を描く様子が印象的でした。